



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年8月13日

東

上場会社名 エンカレッジ・テクノロジー株式会社 上場取引所
 コード番号 3682 URL <https://www.et-x.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 石井 進也
 問合せ先責任者（役職名） 取締役経営管理部長（氏名） 飯塚 伸 TEL 03-5623-2622
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	607	△4.0	15	△42.6	16	△39.0	10	△42.1
2026年3月期第1四半期	632	11.5	26	0.0	26	△4.6	17	△3.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	1.51	—
2026年3月期第1四半期	2.62	—

（注1）「1株当たり四半期純利益」は信託口が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めて算出しております。

（注2）「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	5,087	3,399	66.8
2026年3月期	4,975	3,566	71.7

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 3,399百万円 2026年3月期 3,566百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	26.00	26.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		0.00	—	27.00	27.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,800	8.3	320	5.6	326	3.3	223	5.2	33.47

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年3月期1Q	6,924,200株	2026年3月期	6,924,200株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2027年3月期1Q	261,632株	2026年3月期	261,632株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2027年3月期1Q	6,662,568株	2026年3月期1Q	6,661,168株
------------	------------	------------	------------

(注)「期末自己株式数」には、信託口が保有する当社株式が含まれております。また、「期中平均株式数」の計算において控除する自己株式には信託口が保有する当社株式の期中平均株式数が含まれております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
（1）四半期貸借対照表	4
（2）四半期損益計算書	5
（3）四半期財務諸表に関する注記事項	6
（継続企業の前提に関する注記）	6
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	6
（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記）	6
（セグメント情報等の注記）	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や堅調な企業収益を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。令和8年6月月例経済報告（内閣府）においても、景気は緩やかに回復していると判断されている一方、中東情勢をはじめとする地政学リスクや金融市場の変動等には引き続き注意が必要な状況にあります。一方で、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資額（除く土地投資額）（日銀短観2026年6月調査）は前年度比8.8%増となる計画が示され、企業のデジタル化・省力化投資への意欲は引き続き高水準で推移しております。生成AIについても業務効率化や新たな付加価値創出への活用が拡大し、AI関連投資の加速が期待されますが、プロンティアAIによるサイバー攻撃の高度化など新たな脅威も顕在化しており、企業には適切なガバナンスとリスク管理が求められております。

このような状況のもと、当社は、第1次中期経営計画の3期目として当期をスタートしており、「事業計画（KPI）達成」「新製品・サービスリリース/品質向上」「人材強化（パフォーマンス20%UP）」を重点施策に定めて、新たな活動に取り組んでおります。

「事業計画（KPI）達成」については、前期は過去最高の売上高であったものの期初に計画していた売上高未達は、ライセンス売上が計画値を下回ったことが最大の原因と考え、当期はライセンス売上をはじめとする事業計画（KPI）の達成を最重要事項と位置付けております。重点施策として、既存顧客・代理店への深耕および保守・クラウドサービスの更新率向上に取り組んでおります。

「新製品・サービスリリース/品質向上」については、当社は製品・サービスを通じて顧客へ新たな価値を創造し、提供するとともに、高品質な製品・サービス提供に努めております。重点施策として、新製品・新Cloud(製品版と同一機能)/新サービスリリースおよび品質向上に取り組んでおります。

「人材強化（パフォーマンス20%UP）」については、当社事業価値の源泉は人的資本に大きく依存しており、「人材」をマテリアリティ（重点項目）と位置付けております。重点施策として、パフォーマンス向上および人材育成に取り組んでおります。

なお、製品開発面では、次世代型特権ID管理ソフトウェア「ESS AdminONE」のクラウド版「ESS AdminONE Cloud」を4月27日よりサービス開始いたしました。また、16年連続市場シェアNo.1のシステム証跡監査ソフトウェア「ESS REC 6」に、本番システムに対する重要操作の立ち合い（再鑑）を場所を問わずに徹底して行うことができる機能等を強化したバージョン6.2を5月12日にリリースいたしました。

当社の当第1四半期累計期間における経営成績は次のとおりであります。

当第1四半期累計期間におけるライセンス売上は、既存顧客の別システムへの展開（新規）の売上が前期比38百万円の減少等により、前年同期比で20.0%の減少となりました。また、ライセンス売上に派生するコンサルティングサービス売上も、同様に前年同期比で11.8%の減少となりました。

ストックビジネスである保守サポートサービス売上も大規模システムの並行稼働期間の終了等により前年同期比0.6%減となりました。なお、クラウドサービスについては、「ESS REC Cloud」やエンタープライズユーザー向けのサブスクリプション契約の寄与により、前年同期比27.5%増と大きく伸長しました。

これにより、売上高は前年同期比4.0%減の607,559千円となりました。

一方、売上原価並びに販売費及び一般管理費においては、協力会社社員削減による外注費の減少等により、前年同期比2.3%減少の592,317千円となりました。この結果営業利益は15,241千円（前年同期比42.6%減）、経常利益は16,302千円（同39.0%減）、四半期純利益は10,087千円（同42.1%減）となりました。

当第1四半期における製品・サービス区分別販売実績

(単位：千円)

製品・サービスの名称	パッケージソフトウェア事業※1		
	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)	増減率 (%)
うちESS REC	86,145	45,456	△47.2
うちESS AdminONE	52,077	61,990	19.0
うちその他ライセンス	1,370	4,288	212.9
ライセンス	139,593	111,734	△20.0
保守サポートサービス	363,514	361,256	△0.6
クラウドサービス	52,065	66,357	27.5
コンサルティングサービス	72,084	63,554	△11.8
SIO常駐サービス	4,509	4,567	1.3
その他※2	1,027	89	△91.3
合計	632,793	607,559	△4.0

※1 当社はパッケージソフトウェア事業の単一セグメントであります。

※2 その他の主なものはレンタル売上等であります。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べ112,356千円増加し、5,087,914千円（前事業年度末比2.3%増）となりました。主な増加要因は、売掛金の回収及び保守サポートサービス売上に係る前受金（契約負債）の増加等による現金及び預金の増加203,005千円、主な減少要因は、売掛金及び契約資産の減少48,961千円であります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ279,326千円増加し、1,688,048千円（前事業年度末比19.8%増）となりました。主な増加要因は、保守サポートサービス売上に係る前受金（契約負債）の増加376,443千円によるものであります。主な減少要因は、確定申告納付による前期末払法人税等の減少85,168千円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べ166,969千円減少し、3,399,865千円（前事業年度末比4.7%減）となりました。主な減少要因は、剰余金の配当による減少174,583千円、その他有価証券評価差額金の減少2,473千円、主な増加要因は、四半期純利益10,087千円の計上によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の当第1四半期累計期間は、概ね計画どおりに進捗しており、今後の業績につきましては、引き続き国内外の景気動向にリスクが存在しておりますが、2026年5月13日に公表した業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,053,013	4,256,018
売掛金及び契約資産	208,389	159,427
前払費用	93,817	85,918
その他	8,831	11,188
流動資産合計	4,364,052	4,512,553
固定資産		
有形固定資産	57,086	51,542
無形固定資産	180,431	158,910
投資その他の資産	373,987	364,907
固定資産合計	611,505	575,360
資産合計	4,975,557	5,087,914
負債の部		
流動負債		
買掛金	60,524	46,593
未払金	53,600	77,157
未払法人税等	90,244	5,075
契約負債	1,015,743	1,392,186
賞与引当金	84,113	42,460
預り金	6,155	33,792
役員賞与引当金	9,750	—
その他	37,510	39,429
流動負債合計	1,357,641	1,636,695
固定負債		
退職給付引当金	1,050	1,110
従業員株式給付引当金	1,000	1,000
資産除去債務	49,031	49,243
固定負債合計	51,081	51,353
負債合計	1,408,722	1,688,048
純資産の部		
株主資本		
資本金	507,386	507,386
資本剰余金	489,386	489,386
利益剰余金	2,771,632	2,607,135
自己株式	△215,681	△215,681
株主資本合計	3,552,723	3,388,227
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14,112	11,638
評価・換算差額等合計	14,112	11,638
純資産合計	3,566,835	3,399,865
負債純資産合計	4,975,557	5,087,914

（2）四半期損益計算書

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
売上高	632,793	607,559
売上原価	314,615	327,645
売上総利益	318,178	279,913
販売費及び一般管理費	291,610	264,671
営業利益	26,568	15,241
営業外収益		
受取利息	289	1,664
助成金収入	468	—
営業外収益合計	758	1,664
営業外費用		
障害者雇用納付金	600	530
雑損失	14	73
営業外費用合計	614	603
経常利益	26,711	16,302
税引前四半期純利益	26,711	16,302
法人税、住民税及び事業税	140	132
法人税等調整額	9,147	6,082
法人税等合計	9,287	6,214
四半期純利益	17,423	10,087

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
減価償却費	28,925千円	101,793千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社は、「パッケージソフトウェア事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。